

2020年12月12日「Xmas 神戸週末 飛鳥Ⅱワンナイトクルーズ」乗船記

岡島 純

久しぶりに飛鳥Ⅱに乗船した。2020年春にシンガポールで大改装を行い、大々的にクルーズが行われようとしていた矢先に新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延したため、運航することが全くできなかった。

秋になったころに募集がされ、早速予約した。定員のおおよそ2/3程度しか募集されず、バルコニー室の必要性はなかったが、バルコニー付きカテゴリー(Eカテゴリー)からしか販売されなかった。しかし、GO TO トラベルの特典で、ほぼバルコニーなしのカテゴリー価格となった。

17時に神戸港第四突堤を出港し、翌日に戻ってくるワンナイトクルーズであった。Maritime Traffics で下船前に航路を確認すると室戸岬東側で回頭したことがわかった。船内の予定航路とは少し異なっていた。

特に新型コロナウイルス感染症対策が取られた後の運航であり、乗船記の最後にどのように行われているかをまとめて記述する。乗船すると改装されたアスカプラザに天井まで届く巨大なクリスマスツリーが目飛び込んでくる。改装により新設されたLEDディスプレイのアスカビジョンに雪景色が映し出されている。インパクトはあるが、本船が建造された当時は水がガラスの筒状オブジェに流れており、北郷 悟氏による「ハーモニー」の像が置かれていた。この像がディスプレイ横に移動したため、場所が狭くなった感じを受けた。今回は密集を避けるためセイルアウェイパーティーは行われず、華やかなクリスマスの飾り付けを各所に見ながら改装された船内を見て回った。途中レセプションでクレジットカード登録を行い、2つの質問を行った。1つは先代飛鳥のライブラリーに飾られていた絵画「檀原丸」は現在どこにあるのか。2つ目は船番プレート場所(確か以前はブリッジ下にあり、乗客が立ち入ることができない場所にあった)。このような質問をする乗客は今までいなかったのか即答できず、預かり回答となり、2つ目の回答はしばらくしてから得られた。1つ目は本社に問い合わせ中らしい。船内見学を行っているが夕食時間になった。夕食は17時15分からと19時45分からの2回制で、今までより15分早く開始されていた。ドレスコードはインフォーマルであったが、タキシードや和装の乗客も見られた。食事前にはメイトルディによる本日のお勧めのワイン紹介と総料理長によるメニュー解説があり、これもイベントの一環かも知れない。乗客数が少ないため、総料理長が各テーブルを回り挨拶しながら再度料理内容の説明が行われた。この間の料理確認は一体誰が行っているのか心配になった。食事が終わってプロダクションショーまでの時間にクラシカルマジックシアターと称して昭和のにおいが感じられる伝統的なマジックが演じられた。今見ると確かにネタバレの感は否めなかった。プロダクションショーは大がかりな設備を造らず、クリスマス歌や踊りで華やかな内容であった。その後11デッキパームコートにてピアノとチェロによるクリスマスラウンジコンサートが開かれ、プロダクションショー時には飲食の提供を行わないため、パームコートでクリスマススペシャルカクテルを頼んでみた。オレンジとストロベリーをミックスしたアルコールタイプの「PRAYER」であった。味はご想像に。その後、ウインブルドンテニスコート跡に新設された露天風呂(グランドスパ横)調査を行った。グランドスパから階段で移動すると雨天でも使用できる風呂になっている。夜入浴したが、あたりは漆黒の闇で星が見えるくらいで、もし朝なら大海原を見ながら入るのは最高であろう。(時間の都合朝風呂は断念した)冬の時期はグランドスパへの行き来は寒い。

コロナ感染症対策に関して

すでに乗船申し込みを行ってから乗船までの間から始まっている。乗船10日前くらいに民間検査会社からPCR検査キットが送付され、唾液を採取して返送すると約3日後に「低リスク」「高リスク」「再検査」の結果を事前登録したメールアドレスに知らせてくれる。医師による検査結果でないため「陰性」「陽性」の判定はなされていない。

乗船当日は起床後すぐに検温し、「感染症に関する質問票」を乗船受付に提出し乗船口に向かう。運航部門クルーは出迎えずにスタッフが手指消毒と荷物検査を行っていた。乗船順はそれぞれ客室タイプに時間が決められているので混雑は避けられている。

船内の至る所に消毒用アルコールが設置され、公室入口にはサーマルカメラでの検温と乗船証読み取りがある。乗下船日以外は1日1回のみ客室係による消毒やタオル交換など行われないため、ベッドメイキングはすでにできていた。ピアノバー、カードルームやクラブスターズなど人が密集しそうな公室の一部は営業停止しており、フィットネスセンター、売店やサウナへの入場人員制限がされており、イベント開催時は出入り一方通行方式となっていた。レストランやラウンジ

は同室者以外の同席は避けるようにし、マスクは常時着用でマスクケースが客室内にあった。

レストランは1人もしくは2人用の席となっており、隣の席との間にパネルが設置されていたが、満船でないため一つ席を空けて座らせていた。テーブルには塩や胡椒の調味料がなく、醤油はプラスチックの小分けビン。おしぼりは布製か居酒屋で出されるような紙製のものであった。(紙質は良い)メニューは QR コードで読み取り方式であるが、乗船者の年齢を考慮してか個別に紙で配布される。サーブするスタッフはマスクにフェイスシールド着用していた。夜食提供は従来のダイニングルームから 11 デッキのリドカフェに変更されていた。朝食と同様ビュッフェスタイルではなく、メニュー方式になった。グランドスパは受付で検温と乗船証読み取り後に更衣ロッカー鍵が渡されて利用する。ロッカーは 1 つおきにタオルが入っている。入浴後はロッカー鍵を指定されたトレイに置き、ロッカーに差したままにしないように伝えられた。

公室や諸施設どこに入る時でも手指消毒と検温があり、だれがどこに行ったかの追跡調査のため乗船証を読み取ることになっており、ショーが行われるギャラクシーラウンジは指定席制から自由席制に変更されたが、スタッフが座席配置図に部屋番号を一人一人聞き取りしていた。元の指定制にすればよいかと思う。

かなりコロナウイルス感染症対策がとられており、すくなくともスタッフとの接触は極力避けられている。乗客も常にマスクは着用しており、公室や諸室に入る時は手指消毒を行っているのが見られた。ダイヤモンド・プリンセスでクルーズに関して素人評論家がテレビ等で「換気が悪く淀んだ室内など」と嘘を垂れ流していたが、換気は約10分で入換されており、結構換気音が気になるほどであった。

このようにコロナウイルス感染症対策が徹底されており、クルーズに対する心配はないので今後増加していくことを期待します。

すでに明海大学の上杉先生が「につぼん丸乗船記」を発表されていますが、飛鳥Ⅱの状況報告をいたしました。

アスカプラザのクリスマスツリー

LED ディスプレイ

ダイニングの仕切りパネル



グランドスパ前の検温

手指消毒剤

フィットネスの水分補給所

